＜様式＞

学校名	山形市立宮浦小学校 山形市宮浦17－3 TEL 645－1479 FAX 645－8346	校　長	結城　喜広
		研究主任	稲毛　敬美
研究主題	自ら問いを持って考え、思いを伝え合う子供の育成 （５年次）		
研究主題設定の理由	本校の子供たちは、素直でエネルギーにあふれており、前向きに学習に向かおうとしている。その一方で、困難な課題にぶつかったとき、課題を自分事として捉え、前向きに取り組むことができないこともある。つまり、粘り強さや自ら問いを持って考えようとする姿に課題があると考えられる。 少子高齢化やグローバル化等によって社会構造が多様化し、めまぐるしく変化する時代の中で、新たな課題に対して、既存の知識だけにとらわれることなく、他者と互いの思いや考えをすり合わせながら最適解を見つけていく、しなやかな生き方が必要となる。そこで重要となるのは、「自ら学ぼうとする意欲」であると考える。与えられた課題だけをこなしていくのではなく、「なぜだろう」「不思議だ」「調べたい」「解決したい」といった知的な探究心を持ちながら生活できるような子供を育てていきたい。また、探究するには、他者の存在が不可欠であると考える。子供たち同士が互いに思いを伝え合い協働的に解決したり、互いを認め合いながら生活する経験を重ねていったりすることができるようにしていきたい。そこで、本校の研究主題を、昨年度に引き続き、「自ら問いを持って考え、思いを伝え合う子供の育成」とすることとした。受け身の姿勢で学ぶのではなく、自ら課題を見い出し、その解決のために、習得した知識・技能を活かしながら思考し、協働的に学ぶ過程を大切にした授業づくりを行っていきたい。また、本研究主題は、学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学び」という授業改善の視点にも直結するものであると考える。学習指導要領の趣旨を十分に踏まえながら、育てたい資質・能力をより明確にし、授業力の向上に努めていきたい。		
研究の重点	資質・能力を育む単元計画づくり 学習指導要領では、「何が分かるか」ではなく、「何ができるようになるか」をキーワードとして育成を目指す資質・能力が具体化されている。それにより、本当に子供たちにどんな力が付いたのか、その付いた力は確かなものなのかといったことが、これまで以上に問われるようになってきた。そこで、子供たちに確かな資質・能力を育んでいけるよう、単元などの内容のまとまりをきちんとデザインすることが大切だと考えた。また、自ら問いを持って考えたり、思いを伝え合ったりするためには、そのための力が必要である。 このようなことから、学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「課題発見・解決能力」の３つの資質・能力に加え、「あきらめないで考える力」を本校で育てたい資質・能力とし、単元計画に重点を置きながら計画的に育てていくこととした。		

研究の内容・方法

１．単元デザイン表の作成

学級経営案及び教科の指導案としての性格を持ち合わせた､｢単元デザイン表｣の作成を行う。作成は、学期ごと３回行い、教育計画に位置づけていく。学級担任が、その学期に重点的に取り組みたい教科を１つ決定し、育てたい資質・能力を明確にしながら学級経営と単元計画を行う。基本的に個人で作成していくが、学年ごとに検討する時間を設けるなど、複数人で取り組んでいく。また、単元デザイン表の作成は、山形大学名誉教授である中井義時先生より専門的な指導を仰いでいく。子供たち同様、教職員も一人の学び手である。自己の課題を持ち、授業改善に意図的・計画的・継続的に取り組む「自律した学び」を行い、授業力の向上を図っていきたい。

２．単元計画タイム（T タイム）の実施

会議のない金曜日の放課後 16:00～16:30 を単元計画タイム（T タイム）として位置づけ、学年ごとに単元・授業について考える時間を設定する。日ごろ学級事務に追われがちな放課後の時間を、授業について語り合う時間としてきちんと確保することで、学年として計画的に子供たちを育てていきたい。また、ベテラン教員からすぐれた教育技術を継承する場としても活用されていくことを期待している。

３．授業研究会の実施

授業の提案は、すべての学級が行う。授業づくり等は、基本的に学年で進めていくが、学年部で進めたり、同じ教科を研究している者同士で進めたりするなど柔軟に対応する。単元デザイン表に加え、本時案、授業の視点、事後記録などを作成し、職員全員に周知する。参観した教員は、授業の視点に沿った見解や自由な視点で自分が学んだことなどを授業者に伝える場を設定する。進んで研究に参加する場を設定することで、教員も「自律した学び」を目指す。また、いつでも誰でも参加できるスタイルの研究会にすることによって、研究の日常化を図っていく。

研究の計画

4月	・研究推進委員会 ・研究全体会（１年の見通し）	10月	
5月	・単元づくり研修会① （単元デザイン表作成①） ・研究推進委員会	11月	
6月	・研究推進委員会	12月	・単元づくり研修会③ （単元デザイン表作成③）
7月	・単元づくり研修会② （単元デザイン表作成②）	1月	
8月		2月	・研究推進委員会 ・研究全体会 （今年度の振り返り、来年度の方向性）
9月		3月	・研究のまとめ